

ディーゴ ガイド



2025.10.6-12

But **grow** in the grace and knowledge of our Lord and Savior

L T G ガイド

- ①お互いへの感謝と誉めることを分かち合しましょう。(2~3つ)
- ②1週間の罪を言い表して悔い改め、互いに祈りましょう。
- ③礼拝メッセージの分かち合いをします。
礼拝メッセージの分かち合いが難しい場合はディボーションの分かち合い(なるべく短く)
- ④預言の祈り(主の御心を宣言して祈り)をします。

L T G Guide

セル ガイド

- ①祈り、賛美によって主がここにいてくださることを信じ、聖霊様をあがめます。
- ②互いの存在を感謝し、尊敬するところを分かち合しましょう。
- ③ディボーションの分かち合いをします。
- ④セルの目的と働きについてみなで共有して、祈り、遣わされて行きましょう。

家族礼拝ガイド

年長のクリスチャンがリードしてください。進め方にはいろいろな意見が出るかもしれませんが、「主に期待する」信仰が最も大切です。いつもの家族でいいのです。

- ①この1週間で神様はすばらしいと感じたのはどんなこと?
- ②この1週間でお互いにどんなことを感謝しますか?(または誉めたいですか?) 1つだけ。
- ③聖書のみことばから、どんな実践をして、またどんな恵みがありましたか?
- ④互いの必要のために祈りましょう。

Cell Group Guide

礼拝メッセージフィードバック

<今日の聖書箇所は…>

①神のみこころは?(信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちなど)

②どんな思いになりましたか?(感情や願いなど)

③生き方にどう適用しますか?(あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか?)

④この世にあって何を実践しますか?

Family Worship

14:1 信仰の弱い人を受け入れなさい。その意見をさばいてはいけません。

14:2 ある人は何を食べてもよいと信じていますが、弱い人は野菜しか食べません。

14:3 食べる人は食べない人を見下してはいけませんし、食べない人も食べる人をさばいてはいけません。神がその人を受け入れてくださったのです。

14:4 他人のしもべをさばくあなたは何者ですか。しもべが立つか倒れるか、それは主人次第です。しかし、しもべは立ちます。主は、彼を立たせることがおできになるからです。

14:5 ある日を別の日よりも大事だと考える人もいれば、どの日も大事だと考える人もいます。それぞれ自分の心の中で確信を持ちなさい。

14:6 特定の日を尊ぶ人は、主のために尊んでいます。食べる人は、主のために食べています。神に感謝しているからです。食べない人も主のために食べないのであって、神に感謝しているのです。

14:7 私たちの中でだれ一人、自分のために生きている人はなく、自分のために死ぬ人もいないからです。

14:8 私たちは、生きるとすれば主のために生き、死ぬとすれば主のために死にます。ですから、生きるにしても、死ぬにしても、私たちは主のものです。

14:9 キリストが死んでよみがえられたのは、死んだ人にも生きている人にも、主となるためです。

14:10 それなのに、あなたは どうして、自分の兄弟をさばくのですか。どうして、自分の

兄弟を見下すのですか。私たちはみな、神のさばきの座に立つことになるのです。

14:11 次のように書かれています。「わたしは生きている——主のことば——。すべての膝は、わたしに向かってかがめられ、すべての舌は、神に告白する。」

14:12 ですから、私たちはそれぞれ自分について、神に申し開きをすることになります。

「信仰の弱い人」とは、ここでは「野菜よりほかには食べ」ない人であって、すなわち自由のない人です。何かの規定を堅守する人は意志の強い人のようですが、実は規定に縛られている「弱い」人という解釈です。

しかしそのような人は「弱い」と非難されるべきかということ、そうではありません。「その意見を裁いてはいけません。」とはっきりと書かれています。

信仰のあり方や、その人の生き方やについて批判してはならないのです。聖書に罪と定められていないことで、人を批判することは差し控えましょう。また同じように、これは主のためと信じるなら、また主に許されていると信じるなら、人の批判よりも主に聞いて行いましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



7日 火曜

ローマ



14:13 こういうわけで、私たちはもう互いにさばき合わないにしましょう。いや、むしろ、兄弟に対して妨げになるもの、つまずきになるものを置くことはしないと決心しなさい。

14:14 私は主イエスにあって知り、また確信しています。それ自体で汚れているものは何一つありません。ただ、何かが汚れていると考える人には、それは汚れたものなのです。

14:15 もし、食べ物の中で、あなたの兄弟が心を痛めているなら、あなたはもはや愛によって歩んではいません。キリストが代わりに死んでくださった、そのような人を、あなたの食べ物の中で滅ぼさないでください。

14:16 ですから、あなたがたが良いとすることで、悪く言われないようにしなさい。

14:17 なぜなら、神の国は食べたり飲んだりすることではなく、聖霊による義と平和と喜びだからです。

14:18 このようにキリストに仕える人は、神に喜ばれ、人々にも認められるのです。

14:19 ですから、私たちは、平和に役立つことと、お互いの霊的成長に役立つことを追い求めましょう。

14:20 食べ物のために神のみわざを台無しにしてはいけません。すべての食べ物はきよいのです。しかし、それを食べて人につまずきを与えるような者にとっては、悪いものなのです。

14:21 肉を食べず、ぶどう酒を飲まず、あなたの兄弟がつまずくようなことをしないのは良いことです。

14:22 あなたが持っている信仰は、神の御前

で自分の信仰として持っていないさい。自分が良いと認めていることで自分自身をさばかない人は幸いです。

14:23 しかし、疑いを抱く人が食べるなら、罪ありとされます。なぜなら、それは信仰から出ていないからです。信仰から出ていないことは、みな罪です。

人は主の御心に従って歩むべきで、礼拝し教会を建て上げ、兄弟姉妹を愛し、救いを伝え、証しを立てて生きるべきです。しかし食べ物など本質的でないことでは自由が与えられています。

本質でないことで、人を批判するときは、その多くが、人間的な基準で測っているものです。しかし基準は神様にあります。神様に聞いて、従って歩んでいるなら、周囲がそれを批判することはできません。

それでも自由だからといって、人を害するようなことがあってはなりません。「つまずき」にならないように、「悪く言われないように」すべきです。また当然「お互いの霊的成長に役立つこととを追い求め」るべきです。

大切なのは人間的な基準ではなく、愛なのです。そしてその愛を与え、教えてくださるのは神様です。ですから神様への「信仰」が必要条件であり、「信仰から出ていないことは」的外れとなり、それゆえに「みな罪（＝的外れ）」なのです。

自分の基準ではなく、主に聞いて判断しましょう。また行いましょう。生き方としましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



8日 水曜

ローマ



15:1 私たち力のある者たちは、力のない人たちの弱さを担うべきであり、自分を喜ばせるべきではありません。

15:2 私たちは一人ひとり、霊的な成長のため、益となることを図って隣人を喜ばせるべきです。

15:3 キリストもご自分を喜ばせることはなさいませんでした。むしろ、「あなたを嘲る者たちの嘲りが、わたしに降りかかった」と書いてあるとおりです。

15:4 かつて書かれたものはすべて、私たちに教えるために書かれました。それは、聖書が与える忍耐と励ましによって、私たちが希望を持続けるためです。

15:5 どうか、忍耐と励ましの神があなたがたに、キリスト・イエスにふさわしく、互いに同じ思いを抱かせてくださいますように。

15:6 そうして、あなたがたが心を一つにし、声を合わせて、私たちの主イエス・キリストの父である神をほめたたえますように。

15:7 ですから、神の栄光のために、キリストがあなたがたを受け入れてくださったように、あなたがたも互いに受け入れ合いなさい。

15:8 私は言います。キリストは、神の真理を現すために、割礼のある者たちのしもべとなられました。父祖たちに与えられた約束を確認するためであり、

15:9 また異邦人もあわれみのゆえに、神をあがめるようになるためです。「それゆえ、私は異邦人の間であなたをほめたたえます。あなたの御名をほめ歌います」と書いてあるとおりです。

15:10 また、こう言われています。「異邦人

よ、主の民とともに喜べ。」

15:11 さらに、こうあります。「すべての異邦人よ、主をほめよ。すべての国民が、主をたたえるように。」

15:12 さらにまたイザヤは、「エッセイの根が起る。異邦人を治めるために立ち上がる方が。異邦人はこの方に望みを置く」と言っています。

15:13 どうか、希望の神が、信仰によるすべての喜びと平安であなたがたを満たし、聖霊の力によって希望にあふれさせてくださいますように。

イエス様は弱い者のために地上に来られ、仕えてくださいました。十字架が必要なのは罪と死に縛られた弱い者のためです。もちろんそれは全人類のためです。しかし私たちは救われてしまうと、まるで自分が弱くなかったかのように、弱い人たちのことを忘れてしまいがちです。

イエス様ご自身が、「ご自分を喜ばせること」はなさらなかったのですから、私たちもまたそれに倣って、自分よりも他の人を特に弱い人のことを考えたいものです。それは大変なことのように感じるかもしれませんが、自分を必要としている人の役に立つことは嬉しいことです。また主の喜ばれることをするのは、自分も喜びが湧いてくるものです。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



15:14 私の兄弟たちよ。あなたがた自身、善意にあふれ、あらゆる知識に満たされ、互いに訓戒し合うことができると、この私も確信しています。

15:15 ただ、あなたがたにもう一度思い起こしてもらうために、私は所々かなり大胆に書きました。私は、神が与えてくださった恵みのゆえに、

15:16 異邦人のためにキリスト・イエスに仕える者となったからです。私は神の福音をもって、祭司の務めを果たしています。それは異邦人が、聖霊によって聖なるものとされた、神に喜ばれるささげ物となるためです。

15:17 ですから、神への奉仕について、私はキリスト・イエスにあって誇りを持っています。

15:18 私は、異邦人を従順にするため、キリストが私を用いて成し遂げてくださったこと以外に、何かをあえて話そうとは思いません。キリストは、ことばと行いにより、

15:19 また、しるしと不思議を行う力と、神の御霊の力によって、それらを成し遂げてくださいました。こうして、私はエルサレムから始めて、イルリコに至るまでを巡り、キリストの福音をくまなく伝えました。

15:20 このように、ほかの人が据えた土台の上に建てないように、キリストの名がまだ語られていない場所に福音を宣べ伝えることを、私は切に求めているのです。

15:21 こう書かれているとおりです。「彼のことを告げられていなかった人々が見るようになり、聞いたことのなかった人々が悟るようになる。」

パウロはローマの教会のクリスチャンたちと、自分自身の使命を分かち合うことによって、彼らを主の働きへと励まそうとしているようです。それはパウロの確信、「あなたがた自身、善意にあふれ、あらゆる知識に満たされ、互いに訓戒し合うことができる」という思いから来ています。

人を励ますときには、神様から与えられた将来像が力になります。ビジョンによって励まし合いましょう。

パウロ自身のビジョンも、主から与えられたものであり、それゆえに彼は確信を持って進んでいきました。またそれは「キリスト・イエスにあって」の「誇り」でもありました。

私たちが主イエスに従うことこそが誇りです。この世の基準で勝ち組のように見られても、主に従っていないければ、その人は神の目から見ればみじめなものであり、そのみじめさはやがて現実になって現れてきます。

本当の誇りを手に入れましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



➤ 10日 金曜

ローマ



15:22 そういうわけで、私は、あなたがたのところに行くのを何度も妨げられてきました。

15:23 しかし今は、もうこの地方に私が働くべき場所はありません。また、イスパニアに行く場合は、あなたがたのところに立ち寄ることを長年切望してきたので、

15:24 旅の途中であなたがたを訪問し、しばらくの間あなたがたとともにいて、まず心を満たされてから、あなたがたに送られてイスパニアに行きたいと願っています。

15:25 しかし今は、聖徒たちに奉仕するために、私はエルサレムに行きます。

15:26 それは、マケドニアとアカイアの人々が、エルサレムの聖徒たちの中の貧しい人たちのために、喜んで援助をすることにしたからです。

15:27 彼らは喜んでそうすることにしていますが、聖徒たちに対してそうする義務もあります。異邦人は彼らの霊的なものにあずかったのですから、物質的なもので彼らに奉仕すべきです。

15:28 それで私はこのことを済ませ、彼らにこの実を確かに渡してから、あなたがたのところを通してイスパニアに行くことにします。

15:29 あなたがたのところに行くときは、キリストの祝福に満ちあふれて行くことになると思っています。

15:30 兄弟たち。私たちの主イエス・キリストによって、また、御霊の愛によって願います。私のために、私とともに力を尽くして、神に祈ってください。

15:31 私がユダヤにいる不信仰な人々から救

い出され、エルサレムに対する私の奉仕が聖徒たちに受け入れられるように、

15:32 また、神のみこころにより、喜びをもってあなたがたのところに行き、あなたがたとともに、憩いを得ることができるように、祈ってください。

15:33 どうか、平和の神が、あなたがたすべてとともにいてくださいますように。アーメン。

パウロはイスパニアすなわちスペインへの伝道をするために、ローマに立ち寄りたいと願っています。それはローマで「心を満たされ」たいと思うからです。あなたによって心が満たされたい…などと言ってもらえるとしたら、何と言う幸いでしょうか。それも神の働きならば、より感謝です。

しかしパウロは経済的な支援のためにエルサレムに行こうとしています。このようにローマの人々にも祈りをお願いして、彼らを働きの同労者になってもらおうとしています。それはキリストチャンにとって祝福であり、誇りでもあります。ローマのクリスチャンたちはそれに答えたようです。

クリスチャンでも神の国の価値観が分らない人は、負担をかけたなら申し訳ないとか、負担をかけられたくないなどと遠慮するかもしれません。しかしそれは違います。主のために頼まれることは、同労者として認められていることであり、祝福のチャンスであり、誇りです。頼まれたいことは逆に、認められていないことであり、さびしいことなのです。

頼まれる人になりましょう。そして主と人のために役立つことを喜びとし、がんばってみましょう。そして主の助けと幸いを経験しましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



16:1 私たちの姉妹で、ケンクレアにある教会の奉仕者であるフィベを、あなたがたに推薦します。

16:2 どうか、聖徒にふさわしく、主にあって彼女を歓迎し、あなたがたの助けが必要であれば、どんなことでも助けてあげてください。彼女は、多くの人々の支援者で、私自身の支援者でもあるのです。

16:3 キリスト・イエスにある私の同労者、プリスカとアキラによりよく伝えてください。

16:4 二人は、私のいのちを救うために自分のいのちを危険にさらしてくれました。彼らには、私だけでなく、異邦人のすべての教会も感謝しています。

16:5 また彼らの家の教会によりよく伝えてください。キリストに献げられたアジアの初穂である、私の愛するエパイネトによりよく。

16:6 あなたがたのために非常に労苦したマリヤによりよく。

16:7 私の同胞で私とともに投獄されたアンドロニコとユニアによりよく。二人は使徒たちの間でよく知られており、また私より先にキリストにある者となりました。

16:8 主にあって私の愛するアンブリアトによりよく。

16:9 キリストにある私たちの同労者ウルバノと、私の愛するスタキスによりよく。

16:10 キリストにあって認められているアベレによりよく。アリストプロの家の人々によりよく。

16:11 私の同胞ヘロディオンによりよく。ナルキソの家の主にある人々によりよく。

16:12 主にあって労苦している、トリファイ

ナとトリフォサによりよく。主にあって非常に労苦した愛するベルシスによりよく。

16:13 主にあって選ばれた人ルフォスによりよく。また彼と私の母によりよく。

16:14 アシクリト、フレゴン、ヘルメス、パトロバ、ヘルマス、および彼らとともにいる兄弟たちによりよく。

16:15 フィロロゴとユリア、ネレウスとその姉妹、またオリンパ、および彼らとともにいるすべての聖徒たちによりよく。

16:16 あなたがたは聖なる口づけをもって互いにあいさつを交わしなさい。すべてのキリストの教会が、あなたがたによりよくとっています。

女性、異邦人、奴隷など様々な人々がここに記されています。教会とは主にあってひとつであり、分け隔てのないところです。自分自身が属している教会も、またクリスチャングループでも、誰もが隔てを感じることをないように、配慮し交わっていきましょう。

それは単なるお付き合いではなく、主のための同労者です。パウロはこれらの人々の主にある労苦を賞賛しながら、これを読む人々に励ましを与えたのでしょう。私たちも互いのよきわざを感謝し合って、良き模範にしましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



16:17 兄弟たち、私はあなたがたに勧めます。あなたがたの学んだ教えに背いて、分裂とつまずきをもたらす者たちを警戒しなさい。彼らから遠ざかりなさい。

16:18 そのような者たちは、私たちの主キリストではなく、自分の欲望に仕えているのです。彼らは、滑らかなことば、へつらいのことばをもって純朴な人たちの心をだましています。

16:19 あなたがたの従順は皆の耳に届いています。ですから、私はあなたがたのことを喜んでいますが、なお私が願うのは、あなたがたが善にはさとく、悪にはうとくあることです。

16:20 平和の神は、速やかに、あなたがたの足の下でサタンを踏み砕いてくださいます。どうか、私たちの主イエスの恵みが、あなたがたとともにありますように。

16:21 私の同労者テモテ、また私の同胞、ルキオとヤソンとソシパテロが、あなたがたによろしくと言っています。

16:22 この手紙を筆記した私テルティオも、主にあってあなたがたにごあいさつ申し上げます。

16:23 私と教会全体の家主であるガイオも、あなたがたによろしくと言っています。市の会計係エラストと兄弟クアルトもよろしくと言っています。

16:24 【本節欠如】

16:25 【私の福音、すなわち、イエス・キリストを伝える宣教によって、また、世々にわたって隠されていた奥義の啓示によって――

16:26 永遠の神の命令にしたがい、預言者た

ちの書を通して今や明らかにされ、すべての異邦人に信仰の従順をもたらすために知らされた奥義の啓示によって、あなたがたを強くすることができる方、
16:27 知恵に富む唯一の神に、イエス・キリストによって、栄光がとこしえまでありますように。アーメン。】

教会には神様の力になる人もいれば、まれに妨げとなる人が現れることがあるのも現実です。それは罪が大きいとか、人格的に未熟だとかいうではありません。そのような人はみことばと聖霊による交わりで、成長してゆくのが教会であり、主のみこころです。

教会が警戒すべきなのは、その人によって永遠の命が妨害されるときです。求道者のつまずきになるとか、教会に分裂をもたらすというのがそうです。また神様の「教えにそむいて」、福音を歪めてしまう場合も警戒しなくてはなりません。

もちろんその人をも愛すべきですが、つまずきによって永遠の命の危機があるなら、そのような被害を受けた人々や受けそうな人々をも愛しなくてはなりません。

分裂やつまずきなど、救いの妨げをする人は、その人のためにもそれ以上の悪をしないようにさせる必要があります。「警戒」が必要です。もちろん、自分自身もそうならないように、謙遜になって省みることも必要です。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

